

報道機関に依頼する事項に○をつけてください

①実施する事業の紹介

②催事等の参加者募集

③催事等の当日取材

報道取材情報（沼津市）

平成30年10月12日（金）発表

名称等 沼津市芹沢光治良記念館 企画展「光治良と中国展」を開催します!!

展示期間 2018年11月15日（木曜日）～2019年 5月31日（金曜日）

※以下の期間は展示替えのための臨時休館します

2018年11月1日（木曜日）～11月14日（水曜日）

場 所 沼津市芹沢光治良記念館 1階展示室 住所：沼津市我入道蔓陀ヶ原 517-1
担 当 直通 055-932-0255

1 内容

沼津市出身の作家、芹沢光治良せりざわこうじろうに関する企画展示を開催します。

本年、中国で翻訳出版された光治良著『愛と知と悲しみと』を中心に、作品の主な舞台となっている中国と光治良との関係を紹介します。

2 目的・理由

2017年は日中国交正常化45周年、本年は日中平和友好条約締結40周年の記念の年であることも踏まえ、中国作家との交流など光治良の作品に影響を与えた新たな一面を一般初公開の資料などを通じて紹介するものです。

3 経緯・経過

本年度は光治良とゆかりのある場所をテーマにすえた展示を実施しています。第1弾として「光治良と沼津展」を、今回は第2弾として「中国」との関係の特集します。



来日した中国人作家を自宅に迎えて

4 特徴

(1) 一般初公開の資料の展示

- ・作品のモデルとされた光治良と交流のあった人物（中国人作家・巴金ばきんなど）との書簡約20通の全国初の展示
- ・作家（光治良）の目を通した昭和13年当時の中国各地の写真
日中戦争の最中、南京など各地を撮影した写真約10点の展示

(2) これまでの展示との違い

昨年度は交流作家第1弾として国内の作家・林芙美子を取り上げました。
今回は他国の作家等との交流に焦点を当てます。

企画展

光治良と中国展

光治良と中国との関係について、
交流のあった人物との書簡等(一部一般初公開)
を通して、紹介します。



【愛と知と悲しみと】(1961年・新潮社)(左)と中国語翻訳本(2018年・東方出版社)(右) 作品の主要登場人物のひとり、アーティストのジャック・ルカリア(左)と光治良(右)(岡崎子氏所蔵)

期間 2018年11月15日(木)～2019年5月31日(金)
※展示替え臨時休館 2018年11月1日(木)～14日(水)

2018年中国語翻訳出版された長編小説『愛と知と悲しみと』を中心に、
作品の主な舞台となっている中国と、実際の光治良との関係を
関連する日記や書簡等を通して紹介します。

【関連イベント】11月24日(土)13:30～16:00 沼津市立図書館4階視聴覚ホール(沼津市三枚橋町9-1)
芹沢光治良文学講演会「芹沢光治良文学は今を生きる中国人民にどう映ったか」
講師：加藤嘉一さん(国際コラムニスト・『愛と知と悲しみと』中国語翻訳者)

【開館時間】9:00～16:30(入館は16:00まで)
【休館日】月曜日(休日の場合は翌平日)、休日の翌日、12月29日～1月3日
【観覧料】高校生以上100円、小人50円、団体20人以上2割引 ※市内小中学生無料

沼津市芹沢光治良記念館

静岡県沼津市我入道蔓陀ヶ原517-1
TEL/FAX : 055-932-0255
E-mail : kojiro@city.numazu.lg.jp

